



2021年1月8日

各位

上場会社名 ツインバード工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 野水 重明
 (コード番号 6897)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 高木 哲也
 (TEL 0256-92-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,200	250	130	60	6.87
今回修正予想(B)	12,200 ～12,400	320 ～430	180 ～300	90 ～170	9.90 ～18.70
増減額(B-A)	0 ～200	70 ～180	50 ～170	30 ～110	
増減率(%)	0.0 ～1.6	28.0 ～72.0	38.5 ～130.8	50.0 ～183.3	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	12,159	178	66	△133	△15.32

修正の理由

家電事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が今後も続く予想され、家電量販市場やギフト通販市場におきましては堅調に推移するものの、ホテルや病院向けの業務用家電市場の需要低迷が継続するものと見込んでおります。そのため売上高は当初予想より減少する見込みではありますが、新中期経営計画(2020～2022年度)の主要施策である収益性の高い商品への販売重点化等により売上総利益率は当初予想より改善を見込んでおります。

FPSC事業につきましては、本日付けで公表しております「FPSC(フリー・ピストン・スターリング・クーラー)事業の受注状況等に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、武田薬品工業株式会社との基本契約締結による大型受注、及び主要な取引先でありますGlobal Cooling, Inc.(本社所在地:米国オハイオ州)による2回目の追加受注を勘案し、業績予想を上方修正いたします。今後の国内外の需要増加に対応すべく生産能力の増強に注力しております。しかしながら、現時点で当期末(2021年2月末)までの出荷可能台数に不確定要素がありますので、レンジ形式による業績予想数値として公表いたします。

なお、今回の業績予想の修正による配当予想の修正はありません。また2021年1月7日に政府より新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言がおこなわれましたが、現時点ではその影響を合理的に見積もることは困難であるため、本日修正しました業績予想には織り込んでおりません。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上